

令和2年度 関係者評価の結果について

令和2年度に実施した認定こども園桜台いちい幼稚園・保育園の自己評価の結果についての関係者評価の概要は次のとおりです。

学校法人 北邦学園
認定こども園桜台いちい幼稚園・保育園

建学の精神「自然から学ぶ」

1 本園の教育保育目標

- ◎ 思いやりのある子
- ◎ 丈夫で明るい子
- ◎ 想像力豊かな子
- ◎ やる気のある子

関係者評価の区分

- A：成果を上げている。
- B：ある程度成果を上げている。
- C：もう少し努力が必要である。
- D：改善が必要である。

【各学年のねらい(年間)】

- 0歳児 保育教諭に親しみ、様々なものに興味をもちながらのびのび遊ぶことを楽しむ
- 1歳児 身近なものに興味をもち、保育教諭や友達といろいろな遊びを楽しむ
- 2歳児 いろいろな遊びに興味をもち、友達と関わりながら一緒に遊ぶ楽しさを感じる
- 3歳児 様々な遊びや活動に興味をもって取り組む中で、自分なりに気持ちを表現し、いろいろな友達と関わりながら楽しく遊ぶ
- 4歳児 様々な活動に意欲的に取り組む中で、いろいろな友達と気持ちや考えを伝え合いながら、一緒に遊びを進めることを楽しむ
- 5歳児 いろいろな友達と互いに気持ちや考えを認め合いながら、協力して遊びや活動を進める中で、一人ひとりが目的や見通しをもって行動し、様々な活動に積極的に取り組む

自己評価	各学年のねらいに対する評価内容	関係者評価	
		評価	意見等
「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末現在の子どもの姿と照らし合わせてみると、どの年齢も概ね目標としてきた成長段階に達することができたと感じる。 ・4.5歳児は伝え合う、認め合うということに重きをおき、ねらいに入れ援助を行ったが、まだまだ個人差が感じられる。しかし、年齢的発達において目標にしていた視点としては無理な内容ではないと感じた。そのため、次年度の立案の際には援助として重要なことに着目して検討し進めたい。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校入学を見据え、学びの芽生えを促すきっかけとなるのが、伝え合う、認め合うと思うので、小学校もその芽生えを意識しているので、評価としては良いと思います。 ・発達段階に応じた保育をしてくれているので、子どもが意欲的に活動する姿勢が見られ、概ねねらいは達成できていたと感じます。 ・個人差があるのは仕方がないが、時々全体の様子をみると放置している感じもした。 ・どの年齢もその成長や心の変化に向き合いながら、先生方は楽しむことを教えてくれたのは親にとってとても嬉しかった。そしてその保育が楽しいという気持ちや意欲を育めたように感じ感謝しています。

2 重点的に取り組んだ目標・計画について

目 標	具体的な取り組み計画	自己評価	関係者評価	
			評価	意見等
乳児・幼児の積極的な交流	<p>☆身近な園生活の中で、交流の機会をもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の課題として取り入れていたが、この状況では交流が難しいため、研究保育などを通して様々な年齢での成長や様子を学ぶ機会を設ける。 <p>☆学園主催の研修や札私幼・私保連などでも学べる機会を設ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識だけではなく、ちょっとした保育の工夫やアイデアにも繋げられるよう資料なども記録として残す。 (北邦学園～新人研修、中堅研修、主任研修、学園合同研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ・密になっての活動が難しいことから、積極的という目標までには、至らなかった。しかし、制約があったことで、保育方法を今一度見つめ直し、工夫した新たな取り組みを検討する良いきっかけとなった。 ・感染の状況を踏まえ、計画を見直し担任同士がしっかりと話し合いを進め活動を進められたことは、それぞれ保育・教育の気付きや学びに繋がった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・社会の状況が厳しい中での保育・交流で思い通りにならず苦慮していたのは察します。 ・この一年を通してコロナ禍で、色々なご苦労があったと思います。今後も感染状況を踏まえ保育教育を進めてほしいです。 ・今年度は本当に大変だったと思います。密にならない活動を考え工夫して学びの場を設けている様子は子どもたちから十分に感じました。触れ合うことが大切なこの時期に、それができないのは本当に残念と思いコロナが早く収束するといいなと思いました。 ・様々な制約が多い中で、預かり保育など可能な範囲での交流は出来ていたと感じました。

<p>自己評価 「B」</p>	<p>*園内研究・自由遊び・いちいの村遊び・アイスオーナメント制作・預かり保育など *3学期になってから2才児を3クラスに分けて、数回年少クラスに行き、保育に参加。朝などの自由遊びには年明けからほぼ毎日参加 *園内研究に関しては今後の活動に反映させられるよう、取り組み内容やその際の配慮点などの反省や評価を具体的に残す。</p>	<p>・今年は、感染対策をしっかりと行いながら、開催方法を工夫し学園研修も行った。また、多方面での研修もオンラインにより参加するができた。</p>	<p>「A」</p> <p>・感染対策をしっかりとしながらも、積極的に工夫しているのを感じました。また、忙しい中でもオンライン研修や子ども達が安心安全に活動できるのは、反省などをしっかりと生かし、配慮につなげてくれているからだと思いました。 ・乳児との交流のおかげか、小さい子に多少の思いやりを持てるようになったと思うので、状況に対応しながら続けてほしい。</p>
<p>職員間の意思疎通と協力体制の強化</p> <p>自己評価 「C」</p>	<p>☆情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員一人ひとりが、報連相を意識する。また内容によっては職員連絡網（コドモンのアプリ）を使用し、素早い対応を心掛け周知できるようにする。 伝え漏れがないよう、1日の中で行う会議を通して情報を記録し、会議に出席できない職員に対しても共通理解できるよう工夫する。 <p>☆職員体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ここ近年の課題である、幼児・乳児の勤務時間の違いから（シフト制のため）会議などを行うにあたり全員が揃うということが難しい。そのため、限られた時間を有効的に活用し、相互作用の充実化を図る。 預かり保育については、多い日で園児80人ほどの保育を行うこともあるため、職員体制をしっかりと確認し尚且つ、安全で安心した環境となるよう職員一人ひとりが意識して努める。 	<p>・コロナでの休園や様々な勤務体制に合わせて、職員連絡網（コドモンのアプリ）を活用し素早く対応することが出来た。</p> <p>・保護者対応では、伝え漏れがないよう欠席連絡やバス変更の連絡なども意識して、確認を行っていたが、伝達や確認ミスが多く強化までには至らなかった。この点については、例年園でも、意識はしているが、今後も引き続き努力する必要がある。</p> <p>・時短勤務などにより、限られた時間の中で効率的に作業を進める工夫も感じられた。</p> <p>・預かり保育については、職員間の連携を意識してしっかりと行えた。しかし、より安全で安心した環境とするためには、充実した職員確保が必要と感じた。</p>	<p>「B」</p> <p>・伝達や確認ミスはお互い様といつも思います。その中で、急な連絡にも関わらず、親切に対応してくれていることに感謝します。また、限られた時間、人数の中で子ども達一人ひとりとして関わってくれていることはとても感じますし、そういった状況でも先生たちの温かい雰囲気があることで、安心して預けています。</p> <p>・コロナもあり、保育体制の充実という面では、大変なことが多いと思います。</p> <p>・近年、経験年数の高い方が退職し、若い先生だけの職員体制は保護者として不安に思う。</p> <p>・コロナ禍で、様々な対応を必要としている中、より充実した連絡体制や人員確保が必要なることはとても大変だと思います。その中でより良い体制が出来ると職員間での連携もより充実すると思います。</p> <p>・シフト制で全員が集まったの会議を行うことが難しい状況でも、担任の先生に伝えたことが、他の先生にもしっかりと共有されており、十分に職員間の連携は取れていたと感じました。</p>

<p>保護者理解と連携の強化</p> <p>自己評価 「C」</p>	<p>☆保護者との連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPブログの定期的な更新。 ・「コドモン」を活用した保護者との連携。 ・配布物の内容検討と見直し。 ・保護者との連携。(送迎時や電話での会話を充実させる) <p>*このコロナの状況もあるため、できる限りの範囲を意識して行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みとしては、ほぼ実行できたと感じた。しかし、実際に行ってみたことで配慮が足りない部分や新たに見えた課題点もあるため、次年度はより理解していただけるような情報の提供に努める。 ・コドモンは、有効的に活用できた。今後はより、開かれた内容を発信できるようにコドモンを積極的に活用する。 	<p>「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は社会情勢もあり、難しい面が多かったのではないのでしょうか？ただ、乳幼児期の子どもに対しては、保護者のニーズ、要望も多いことも予想されるので、改善された取り組みを期待します。 ・HPブログや行事のDVD貸出の対応をさせていただいたことで、園で子どもが楽しく過ごしている様子が見られて嬉しく思います。引き続き定期的な更新をお願いします。 ・行事に関する配布物をもう少し早めてほしい。 ・十分に配慮していたように感じる。普段見えない我が子の変化に気付いて伝えてくれることはとても有難いです。
<p>保育教諭の資質能力向上</p> <p>自己評価 「B」</p>	<p>☆自己目標を設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初め、自己目標をそれぞれが設定することで、一人ひとりの仕事に対する意欲を高める。また、1年を通して自分の行動や言動を意識することで、自我を振り返り見つめ直すきっかけとなるよう努める。 ・有給や休憩も個人で意識して、行えるよう環境を整える。 <p>☆資質の能力について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識だけに捉われず、広い視野をもち様々な分野にも興味を高め、関わったり触れたりする機会を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・職務時間を意識し、一人ひとりが取り組んでいた。 ・現場の状況として、有給の積極的な取得とまでは至らなかった。次年度はさらなる業務改善・職員体制の充実に努める。 ・リモートで参加した職員の話や資料をもとに、学びへと繋げられるよう意識した。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育に携わる者にとっては、やればやるほど楽しみも手ごたえも生まれ際限がなくなることも分かりますが、より効果的な指導の工夫がこれからは必要になってきます。 ・子ども達への接し方や取り組む姿勢を見ていると、一人ひとりとしっかり向き合い笑顔で接してくれる姿にとっても一生懸命さを感じます。心身を休めることはとても大事なのでリフレッシュして休んでください。 ・勤務年数に応じた研修に参加することで、自分が働く上で明確な目標を持つことができるのでは感じた。

<p>コロナウイルスに対する衛生管理の意識について</p> <p>【自己評価】 「A」</p>	<p>☆安心・安全な環境作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園環境や保育全般を見直し、安心して安全な環境作りを行う。 ・職員がコロナウイルスについて学ぶ機会を設ける。その中で職員一人ひとりがウイルスやソーシャルディスタンスについての理解を深め、園として子どもたちが安心して安全に過ごすためには何を行わなければいけないのか、何が大切で重要なのかを明確にし、予防知識を深め意識する。 ・職員・園児なども日々検温や手指消毒を行い、また園内や玩具・遊具もこまめに消毒することで、より衛生管理を意識し感染拡大防止に努める。 ・密になる保育や行動を避け、その中でも子ども達が安全で楽しく過ごせるよう保育の創意工夫を行う。また、日々の報告会の中で気付いたことや配慮などを伝え合い互いの情報を共有し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、時間を決め、こまめに園内や遊具・玩具の消毒を行い、安全且つ安心できる環境作りを行った。 ・職員を始め、保護者にご協力をいただきながら、衛生管理を意識し感染拡大への予防に努めることができた。 ・コロナウイルスや消毒方法などの正しい知識として、学ぶ機会を設けた。また、職員一人ひとりが新しい生活様式を意識して、保育に生かすことが出来た。 ・保育環境を見直し、これまで当たり前に行えていたこと、そしてこの状況の中で気付いた新たな保育方法への発見も保育者の学びへと繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染防止に努めているのは伝わった。 ・限られた人員の中で、園児と職員の命を守るための取組に努めていると思います。 ・今後も大変な作業になると思いますが、安全・安心に皆が過ごせるようお願いいたします。 ・当たり前の日々がなくなり、マスク・消毒が当たり前のたくさんの窮屈の当たり前が出来てしまい、それを我慢と思わせるのではなく、工夫して楽しい日常に切り替えてくれたことにとっても感謝しています。 ・通常の業務に消毒作業や保育方法の見直しに時間がとられ、大変だったかと思います。先生方の配慮のおかげで子どもも楽しく、安心安全に園生活を送ることが出来ました。 <p>「A」</p>
---	--	--	---

3 評価項目の達成及び取組み状況について（※各個人の自己評価チェックリストによる）

評価項目	達成及び取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等
<p>「教育保育の計画性」について</p> <p>自己評価 「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園で作成した「教育保育課程・指導計画」を使い、個々の成長やクラスの状況と照らし合わせながら、計画的に保育を実施することができた。 定期的に乳児・幼児クラスは月に1回、もしくは2回、学年部会を行ったことにより、職員間での連携も密に行われ、状況の変化にも素早く対応し見通しをもった計画を立てることができた。 感染症対策をしっかりと行い、保育の在り方や進め方について工夫しながら実施した。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> お便りや毎月のねらいが記載されており、ねらいに沿った取り組み内容を進めていただいたので、この1年間で子どもが心身ともに大きく成長したように感じます。 日案など、とても細かく書かれており、計画性が感じられる。 計画の細かさにおどろきました。その内容をしっかりと考え、反省評価に繋がっているのはとても関心しました。
<p>「教育保育のあり方、幼児への対応」について</p> <p>自己評価 「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式を踏まえた上で、その都度どのような教育・保育が望ましいのか検討し、工夫しながら対応した。 また、活動や遊びの中でも新しい生活様式について、子ども達が自ら気づき、考え、行動に移せるよう配慮し対応を心掛けた。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> 小学校でもこの積み上げを大切に育んでいきます。 子どもの気持ちに寄り添い、意欲的に活動に取り組むことができるよう働きかけてくださっていると思います。 子ども達に気付かせ、考えさせるのはとても良いと思います。 コロナ対策についても、子ども自身が意識して自宅でも行う姿をみていると先生たちの日々の取組の工夫が感じられます。

<p>「保育者としての資質と能力」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況に合わせた保育者としての正しい姿を検討し、どのような対応の仕方、援助が適切なのか話し合う機会を設けて取り組んだ。そのことにより、保育者としての資質能力の向上にも繋がったように感じた。 ・数少ない状況ではあったが、オンラインなどを活用し、学ぶ機会を設けた。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集まって行う研修だけではなく、オンラインも活用し、日頃から資質能力向上のために取り組むのは素晴らしいと思います。 ・保育教諭の個人差をととも感じる。 ・先生方が保育者として、日々学んでいることは、私たち、親が気付くきっかけにもなりました。
<p>「保護者への対応」について</p> <p>自己評価 「C」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの保護者との関わりを丁寧に行うことができた。しかし、丁寧に関わっていても、保護者の思いに寄り添えていなかったり、配慮の足りない言動も見られるため、今後も継続して取り組む必要がある。 ・コドモンのシステムやお手紙などの発行物の内容・活用方法を検討し、保護者理解を深められるよう努める。 	<p>「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭により保育に関する考えや願いが様々で、個々に寄り添った対応には難しさを感じることもあります。その中で桜台の先生達は子どものより良い成長を一番に考え、いつも丁寧にそして親身に対応していただき感謝の気持ちでいっぱいです。保護者もそのような先生方の思いを受け止め、連携していく必要性を感じます。 ・人それぞれの考え方やとらえ方の違いがあるので、難しいと思いますが、今後も丁寧な対応をお願いします。 ・挨拶がいつも飛び交う明るさに好感が持てます。保護者理解のための努力は日々伝わってきます。 ・ケガをした時の加害者、被害者での内容の違いがあった。 ・保護者や園児一人ひとりの立場に立った適切な対応はこれからも（特に）大切と考えます。

<p>「地域の自然や社会との関わり」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今、天災が多いため月1度の災害避難訓練には、先ず職員一人ひとりがしっかりと意識し対応するよう心掛けた。 ・備蓄品やハザードマップなども随時確認し、適宜順応した対応を心掛けた。 ・状況が落ち着いたら、活動や交流を持てるよう熟慮し、今後は様々な施設との連携を図っていききたい。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練をしっかりと行っていただいているので、子どももどのように動いたら良いのか理解に繋がっていると思います。 ・毎月の避難訓練により、職員だけでなく、子どもの意識も高まり、とても良い。 ・訓練をすることで、子ども達の災害に対する考え方や気持ちにも変化があると思います。命を守ることの大切さも伝えながら、これからも取り組んでほしいです。
<p>「研修と研究」について</p> <p>自己評価 「B」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研究については、環境や異年齢についての主題設定で行った。年齢に合わせたねらいなどは概ね達成できたと感じた。しかし、自主性という点については、子どもの育ちに合わせた保育者の援助や工夫がより大切と感じたため、次年度も引き続きその点について意識した保育を行っていききたい。 ・オンライン研修などに出来る限り意識して参加した。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な主題設定のもと、日常的に意識をしながら研究に取り組んでおり、全職員で研修を重ねる姿勢がとても良いと思います。 ・オンライン研修など時代にあった取り組みはとても良いと思います。 ・学校とは互いにOJTのしやすい職場でもあります。機会があれば、学ばせていただきたいと思います。 ・常に保育者としての意識を持っていることを感じます。年齢に合わせた援助はもちろん、成長の個人差もしっかり見て対応してくれていると感じます。今後も意欲的に研修に励んでほしいです。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法	関係者評価	
		評価	意 見 等
① 環境を生かした保育の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の経験を活かし、自園の環境を意識した保育の取り組みが出来るよう工夫する。また、子どもたち一人ひとりが自ら考え自主的に行動できるような保育教諭の働き掛けの工夫も行っていく。 ・保育研究や活動の中から各年齢の育ちや状況など環境に適した遊びを細かく学び合う機会となるようにしたい。 ・園児が密にならぬよう、保育の進め方や環境を意識した工夫を行う 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ならではの遊び等を取り入れているので、外遊びがとても大好きな子どもになりました。これからも子どもがのびのびと遊び、お友達との関わりを通して、様々なことを経験してほしいと願っています。 ・コロナでも難しい状況ではあるが、なるべく例年通り行事を行ってほしい。 ・自然と触れ合うことで小さな発見をし、喜びを得る。家では決してできない経験をさせてもらっていると思います。反面、触れ合う事が苦手な子どもに対する工夫も上手だと感じました。
② 職員間の意思疎通と連携体制	<ul style="list-style-type: none"> ・新2号児や2号園児を含む、預かり保育の体制として保護者からの要望も受け入れながら、安心且つ安全で楽しい保育を進めるように援助したい。また、昨年からの課題でもあるバス問題に関しても職員間の連携を強化することで、より充実した保育を円滑に進められるようにしていく。 ・職員体制の変化に伴い、報連相など、しっかりとした体制を整え、保育に努める。 	「A」	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務体制上、難しさがあると思いますが、可能な限り、職員間での情報共有をお願いします。 ・朝の預かりの時間帯は、もう一人人数を増やした方がいいと感じた。 ・子どもを預けている親からすると、先生方の抱えているプレッシャーや責任は計り知れません。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

<p>③ 保護者理解と連携の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コドモンでの活用方法をより充実化することで、保護者との共通理解を図れるよう努める。 ・ ブログの充実化や配布物の見直しを行い、いちいの保育の理解へと繋がるよう努める ・ 感染予防対策をしっかりと行いながら、保護者の方に見ていただく機会を設けられるよう開催方法や保育内容を熟慮し行う。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間行事予定表もコドモンに掲載していただけると助かります。今後も子どもの成長を先生達と喜び、嬉しさを共有したいです。 ・ コドモンの活用はとても良いので、これからもどんどん活用してほしい。 ・ コドモンやブログ・お便りなど先生たちの日々の努力が感じられます。それなのに、日々の忙しさに甘えて読んでいない時もあり、申し訳ありません。そして提出物なども忘れてしまっても優しい対応をしてくださり、感謝しています。
<p>④ 園の安心・安全に関する知識を高める</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、園児の安全・安心のため新しい生活様式を意識した取り組みを行う。 ・ 職員、一人ひとりが感染症対策への理解を深め、しっかりとした知識を得て保育に携われるよう努める。 	<p>「A」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の関係もあると思いますが、毎日の消毒作業を外部に委託し、先生方の負担を軽減できたらと思います。 ・ 日々のプライベートな時間でも細心の注意を払っていることと思います。笑顔でいること、元気に体を動かすことは何より、体の免疫力を高めると思います。こんな時代だからこそ、先生たちにはいつも笑顔でいてほしいです。